

## 平成 27 年産 紀南の梅産地情報

15/04/07

1. 今年の梅の開花は、2月に低温が続いた影響で、主力の南高の満開期は2月20～21日と平年に比べ7日程度遅くなった。

満開期以降暖かい日が続いたものの降雨もあり、開花期間は平年・前年より短かくなった。

現在の実肥りは、前年に比べ1日程度早く、平年より3日程度遅れている。



2. 4月6日の定点着果調査では、小梅の着果数は前年・平年並みであった。古城の着果数は前年・平年より少なかった。

主力の南高では、着果数は前年より少なく、平年並みであった。

但し、各品種とも園地間・樹体間による着果のバラツキが見られた。

定点調査の着果数（枝径2㍉の枝当たり）と着果率

品 種	平年 (H15～26)		平成 26 年		平成 27 年			
	着果率	着果数	着果率	着果数	着果率	着果数	平年比	前年比
小 梅	33.5%	128	32.4%	141	36.6%	139	109%	98%
古 城	10.2%	36	9.8%	34	5.7%	19	53%	57%
南 高	15.2%	52	18.4%	61	13.5%	48	92%	78%
在来系	14.8%	46	18.8%	35	11.6%	27	59%	79%

3. 今年産の作柄は、生理落果や果実肥大期の気象条件等に左右されるため、現時点で具体的な数量予測はできない。

生産見込量取りまとめの第一報は、今月中旬に予定している。

4. 結実後の気温は、3月に入り前年・平年よりもやや高く推移している。降水量は前年・平年に比べやや多くなっている。

月 旬	平均気温 °C				降水量 mm			
	平年	25 年	26 年	27 年	平年	25 年	26 年	27 年
3 月上旬	8.1	11.3	7.6	8.9	28.3	20.5	48.0	139.0
3 月中旬	9.6	13.0	11.4	11.8	29.5	25.5	30.0	51.0
3 月下旬	10.8	13.0	13.4	11.9	38.7	13.0	57.5	11.0

南紀白浜気象データより（平年は白浜気象データ）